

3月23日 養父市長と八鹿高校生 ふるさとの未来を語る会

ふるさとの未来を語る会が市広報やぶ4月号に掲載されました。18歳になると選挙権を持ちますが、単に候補者を選ぶだけでなく、ふるさとを良くして行くために、具体的にどうすれば良いか高校生が考え、市長に提案・意見交換をしました。次回は市議会議場で行いたいと考えています。



意見を交わす高校生と市長

八鹿高校生と広瀬市長 ふるさとの未来を語る会

市は、市の施策や課題について、3月23日に、高校生と広瀬市長が意見交換する「ふるさとの未来を語る会」を養父市役所で開きました。同会の開催は2年ぶりで、今回2回目。八鹿高校生徒自治会の役員10人が参加しました。

生徒からは「市の特産品など、子どもの頃から知っておくために農業体験を義務化しては」、「市の良さを情報発信する力が弱いのでは」などの意見がありました。

広瀬市長は「若い視点と力で、一緒に市をPRしてほしい」と提案しました。